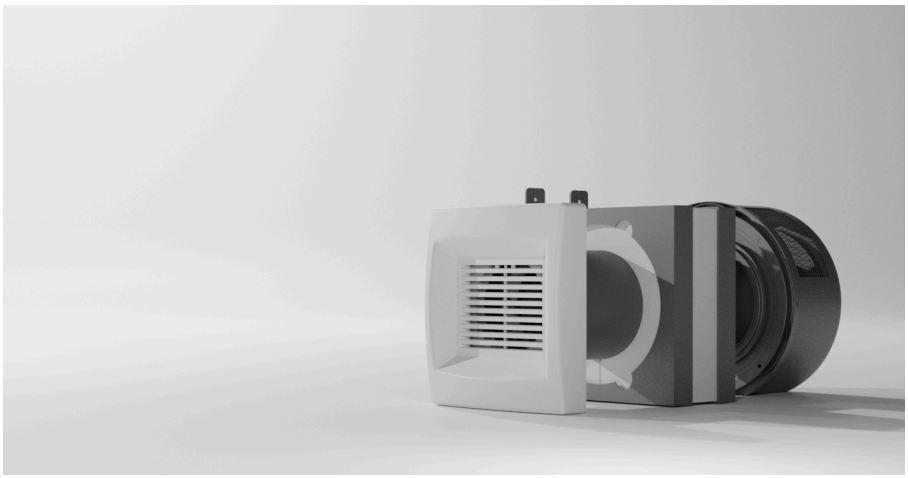
PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム



ヴェントアウト
パイプファンVENTOUT

PF002-GS (人感センサー付)
PF002-ES（手動タイプ）

施工要領書

2026年月08月　発行

⚠大切に保管してください。

商品番号：SK0101-B96310-015-0003

安全のために必ずお守りください



- 取付けを行う前に必ずこちらの施工要領書をご覧ください。
- 安全ルールを守って取り付けをしてください。
- 取付の際、電源スイッチを切ってください。
- スプレーをかけないでください。
- 取り付けは、電気工事士が行ってください。

※納品後、付属部品（同梱品）を確認してください。また、商品の納品時に生じた傷の有無を確認してください。到着後1週間以降の返品交換には応じかねます。

※不適切な取り付け、もしくは用途と異なる使用を行った場合の物的・人的損害については、当社は責任を負いかね、保証請求は無効となります。

商品内容の確認

VENTOUTの梱包部品と部材（外部スイッチは梱包には含まれていません）

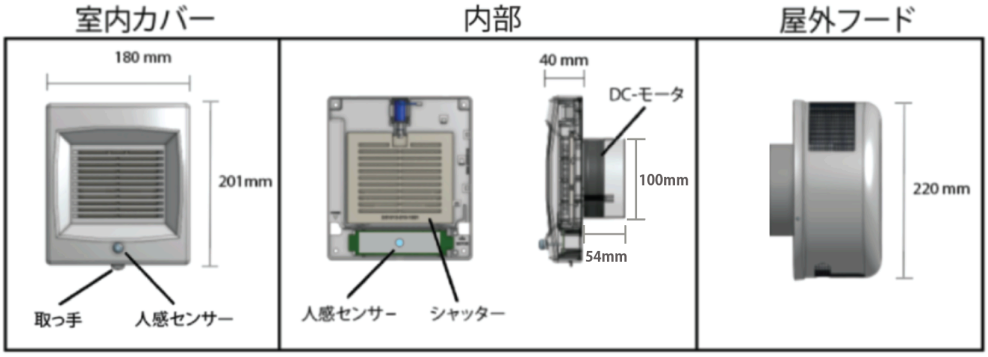
ファンユニット	UV管スリーブ 100-325L	ハルタ-EPS+取付枠 100-105L / 100-120L	防風型屋外フード

必要に応じてご用意していただくもの

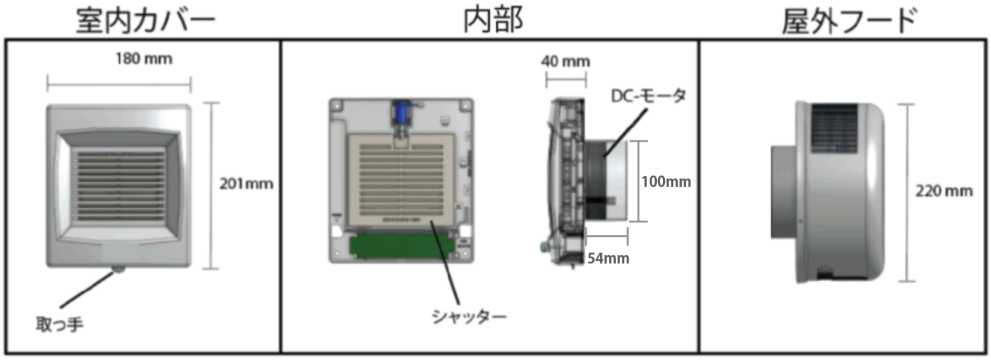
M4 ねじ x4

各部の名称

PF002-GS（人感センサー付）



PF002-ES（手動タイプ）



仕表

特性表

品番	電圧(V)	周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(m³/h)	重量(kg)
PF002-GS	100-240	50-60	7	51	0.46
PF002-ES	100-240	50-60	7	51	0.46

取付パイプ

取付パイプ	外径	内径
VU100	114mm	100mm

使い方（※二種類のタイプによって異なります）

PF002-GSの使い方

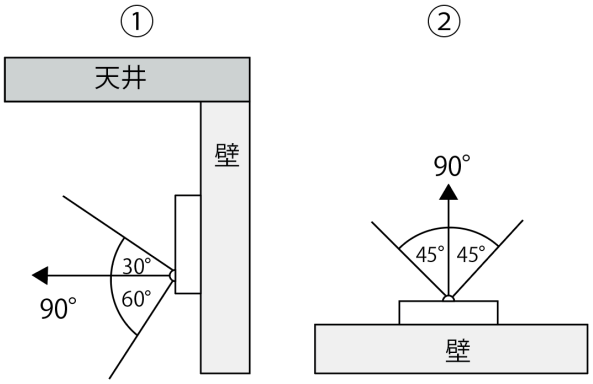
PF002-GSの自動運転時の動作モード

人の動き	X	入室		退室	X
	停止	感知運転 シャッターが開く	運転継続 人の動きを感知すると運転を継続。	残留運転 約10分間運転して停止します。	停止 シャッターが閉じる

※入室後、長時間（約10分間）人の動きがない場合は運転を停止することがありますが、
この場合はセンサーが感知できるように手などを動かしてください。

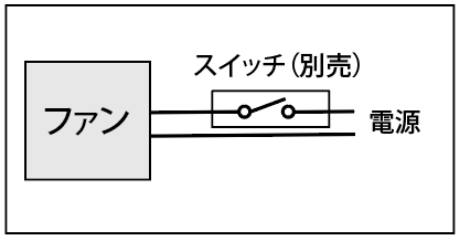
センサー感知範囲

① 左右方向検知角度:90°
② 上下方向検知角度:90



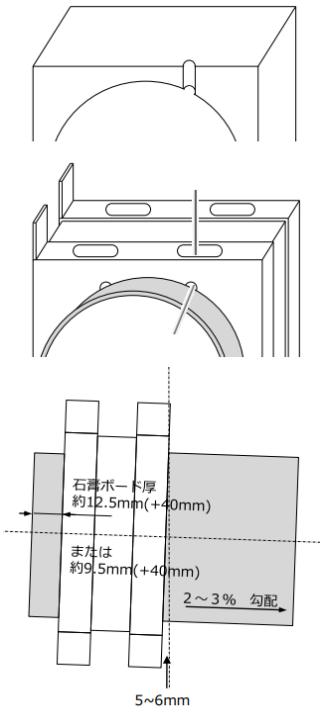
PF002-ESの使い方

PF002-ESは、人感センサーの自動スイッチON/OFF機能がありません。外部スイッチで切り替える必要があります。（外部スイッチは梱包には含まれていません）



施工手順

⚠	※「ハルターくん」取付後に、配線工事を行うと、工事が難しくなる恐れがあります。 ※「VENTOUT」設置位置までの配線工事は、できるだけ取付の前に終えておいてください。



「ハルターくん」を使用してVU管スリーブの設置方法

① 最初に配線を通す位置を確認し、ＥＰＳ（発泡スチロール）にカッターで配線が通る大きさに溝を作ります。※専用型枠の上下に空いている8つの配線孔のうち、 配線を通したい孔の位置に合わせて溝を作ってください。

② スリーブにＥＰＳ（発泡スチロール）を挿入した状態 で、ＥＰＳに型枠をはめ込みます。このとき、ＥＰＳの切れ込みのある面が、型枠のビス孔 がある面と合わせるようにします。※型枠の取付が終わったら、スリーブが簡単に抜けないことを確かめください。

③ ビス孔のある面を柱に付けて取り付けます。 このとき、「ハルターくん」本体を傾け、屋外側に向かって水勾配を2－3%付けて４個のビスで確実に固定します。

固定を確認したら、①の配線用の孔から配線を通します。表裏のスリーブとハルターくんの接合面の周囲に防水ゴムシート（※別売）を貼ります。

スリーブ管・屋外カバーの取付けかた

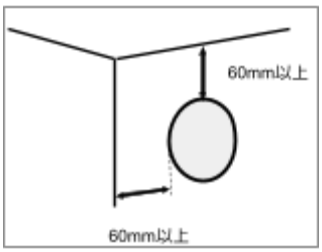
①スリーブ管の取付穴は壁や天井から６０㎜以上離してください。

②壁に穴をあけ、電源用電線をひきだす

③スリーブ管を壁に埋め込む。

④外壁面には屋外カバーを取付ける。スリーブ管は必ず取付けてください。

図1



取付け時の注意

1. 天井や壁からの距離を守ってください。パネルの取付け、取外しができなくなります。
2. 木枠や本体の固定が不十分ですと、振動や騒音などの原因となりますのでご注意ください。
3. パイプは壁面より出さないでください。本体と壁面にすき間ができると空気もれの原因となります。
4. 配線工事やスイッチの取付けは必ず電気工事店に依頼してください。
5. (図1）のような配管工事はしないでください。
6. 電源は必ず正しく配線された（図2）単相100ボルトの専用コンセントを使ってください。
7. 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
8. コンクリートなどの壁穴には直接本体を取付けないでください。取付けが不十分になり、本体が落下する恐れがあります。
9. メタルラス張り、ワイヤレス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト及び本体部が貫通する場合、金属製ダクト及び本体部とメタルラス、ワイヤレス、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。

図1

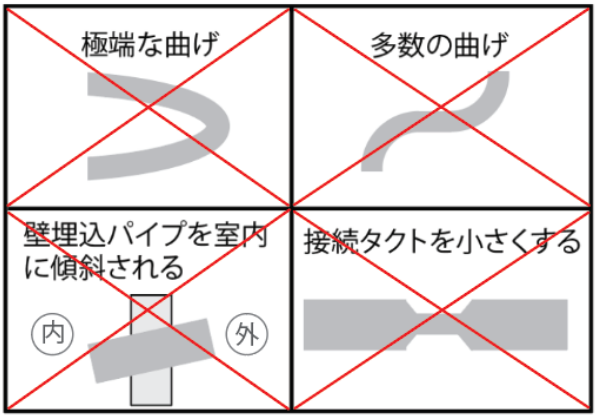
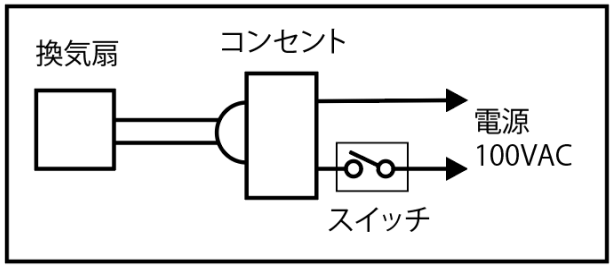
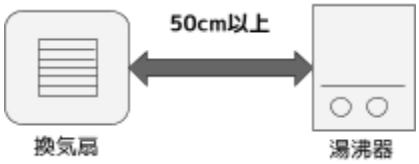


図 2



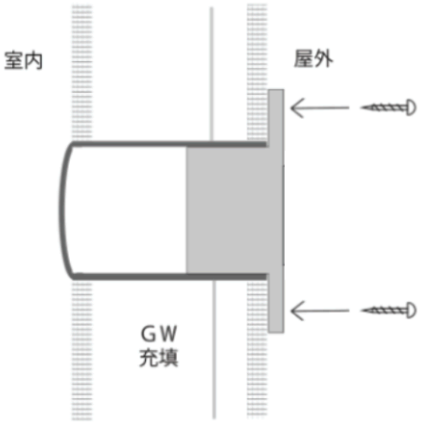
取付場所の選びかた



- 空気の取り入れ口を設けてください。効果的な換気ができません。
- 効率よく換気するため、壁に取付けてください。
- ガス湯沸器からは50cm以上離して取付けてください。
- 直射日光の当たる場所には設置しないでください。誤作動の原因になります

注意！次のような場所には取り付けないでください。		
温度が高い所	**湿度が高い所**	**カーテン等の近く**
長時間40℃以上になるような温度が高い場所は変形したりモーター故障の原因になります。	浴室などの湿度が高い場所は、感電や故障の原因になります。	カーテン等の巻き込みの原因となるような物の近くに取り付けないでください。

屋外フードKK2の設置方法



①外壁面から屋外側に突き出したVU管を切断します。

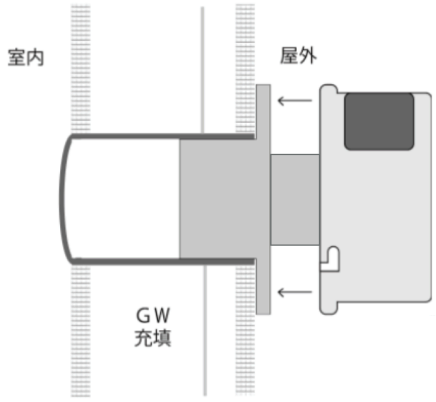
②壁面取付ベースリングをVU管スリーブの外側にかぶせてください。

③ベースリングを右左４ヶ所にビスで固定してください。
固定する前に、屋外フード本体を軽く付けて、上下面を確認してください。ネット２ヶ所が付いている方は上側です。

④屋外フード本体をベースリングにかぶせてください。
ビスをビス穴に合わせ、3ヶ所で固定してください。

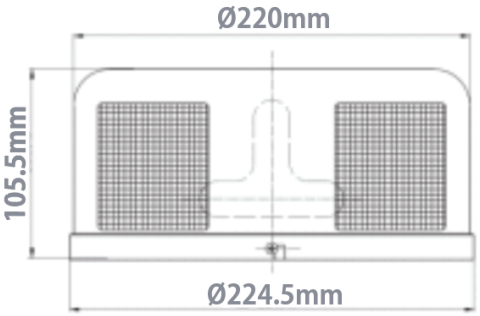
※必ず外壁と屋外フード周りの隙間をコーキングしてください。
このコーキングを怠ると、結露や凍害の原因になります。

※余裕がなければ、屋外フードKK2の中にあるEPDM断熱シートを外してください。





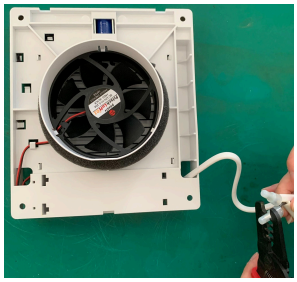
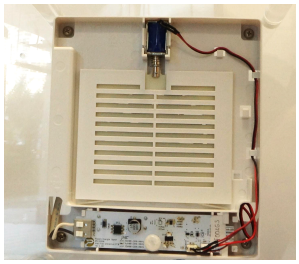
ベースリング



屋外フード本体（上部）

換気扇の取付けかた

取付ける際には、必ずブレーカスイッチを切ってください。感電やケガをする恐れがあります。

①本体から室内カバーを外す。室内カバー下面の取っ手に指を引っ掛け手前に引いて外す。	②本体の裏面の速結端子台に電源用電線（電源コード）を圧縮し接続する。
	
③本体をパイプに差し込み固定する。本体とパイプのがたつきがあるときは付属の木ねじ（4個）で固定してください。	④室内カバーを本体に取付け後簡単に外れないか 軽く室内カバーを引っ張ってみてください。
	

試運転

※取付工事が終わりましたら、下記の要領にて試運転を行ってください。

PF002-GSの試運転

自動運転

①入室すると人感センサーが人を感知し、自動的にシャッターが開き、運転が開始されることを確認してください。
②退出後(約10分後)に、自動でシャッターが閉まり、運転が停止することを確認してください。

PF002-ESの試運転

①外部スイッチをONにして、ファンが正常に回っていることを確認してください。

●シャッターは開いていますか？
●ファンは回転していますか？
●異音、振動はありませんか？

使用中故障・異常が生じた時

下記の点検をして頂き、それでもなお異常のある場合は事故防止のため使用を中止し、電源を切りお買い求めの販売店にご相談ください。

異常内容	点検事項	処置
異常な音がする。	●パネルは確実に取付けられていますか。	●パネルを確実に取り付けてください。
	●本体から(ゴトゴト・ガーガー)音がする。	●モーター等の故障の可能性があります。修理依頼をしてください。
運転しない。	●電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 ●ヒューズやブレーカーが切れていませんか。	●電源を正しく入れてください。
	●「自動」の場合、人の動きがないと運転しません。※PF002-GS	●センサーの前で手などを動かしてください。
人がいないのに運転してる。 ※PF002-GS	●強力な電気雑音はありませんか。 ●大きな振動、衝撃はありせんか。 ●動物の動きはありませんか。	●人の動き以外でも左記のようなことで換気扇が運転されることがありますが、故障ではありません。 ●左記の要因から遠ざけてください。

PASSIV ENERGIE

家に、呼吸を。

ダクトのない熱交換換気

Passiv Energie株式会社
〒140-0001東京都品川区北品川3-6-13
☏ 03-6433-2831
✉ sekkei@passiv-energie.jp
URL passiv-energie.jp